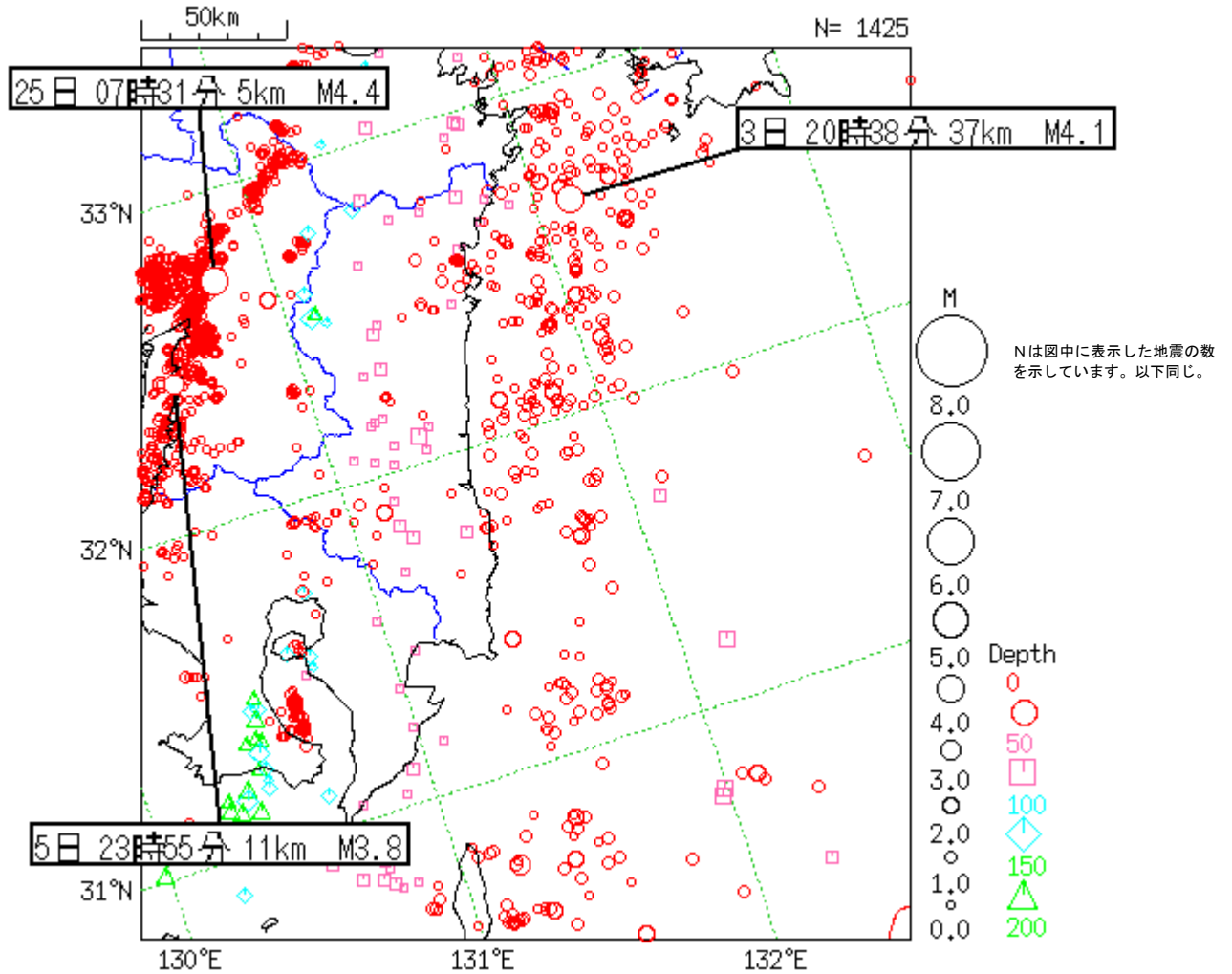


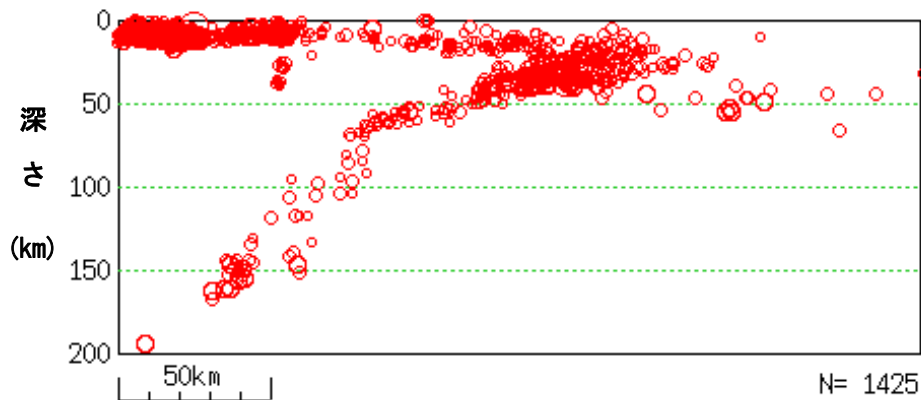
宮崎県の地震活動概況 (2018年7月)

平成30年8月10日
宮崎地方気象台



震央分布図 (2018年7月1日~31日、M0.0以上、深さ200km以浅)

地震の規模 (マグニチュードM) は記号の大きさで、震源の深さを記号と色で示しています。
宮崎県で震度1以上を観測した地震に吹き出しをつけています。



断面図 (震央分布図の投影、深さ200km以浅)

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。
また、2016年熊本大地震合同観測グループのオンライン臨時観測点 (河原、熊野座)、米国大学間地震学研究連合 (IRIS) の観測点 (台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東) のデータを用いて作成しています。

【 7月の地震活動概要】

7月に宮崎県内の震度観測点で震度1以上を観測した地震は3回（6月は6回）でした。

【「平成28年（2016年）熊本地震」の活動域における地震の発生状況】

5日23時55分に熊本県天草・芦北地方で発生したM3.8の地震（深さ11km）により、熊本県の八代市、水俣市、上天草市、天草市、美里町、芦北町、球磨村、鹿児島県長島町で震度2を観測したほか、長崎県、熊本県、宮崎県および鹿児島県で震度1を観測しました（図1左）。また、25日07時31分に熊本県熊本地方で発生したM4.4の地震（深さ5km）により、熊本県の御船町、嘉島町、益城町で震度4を観測したほか、熊本県を中心に九州・山口県で震度3～1を観測しました（図1右）。

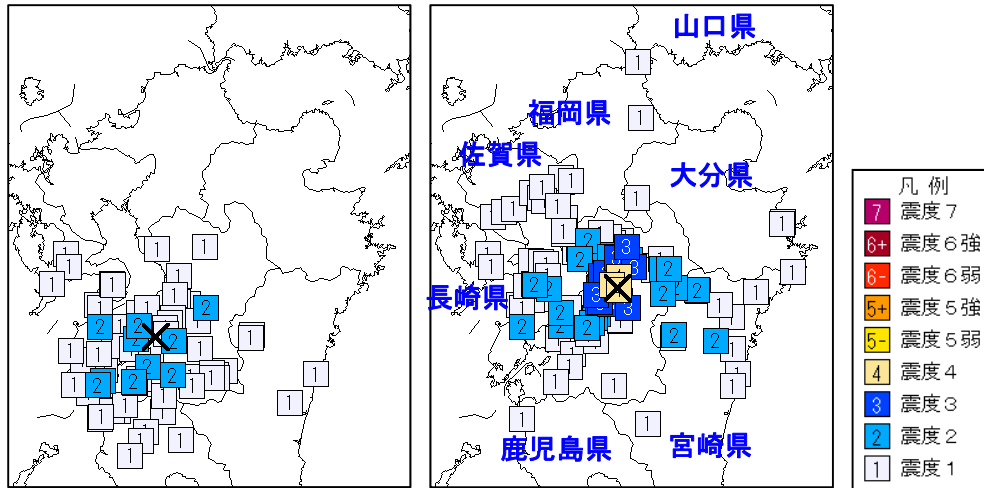


図1 震度分布図（観測点別 ×：震央）
（左：5日23時55分 M3.8、右：25日07時31分 M4.4）

熊本県熊本地方および阿蘇地方における「平成28年（2016年）熊本地震」の一連の地震活動は、全体として引き続き減衰しつつも継続しており、現状程度の地震活動は当分の間続くと見られます（図2、図3）。

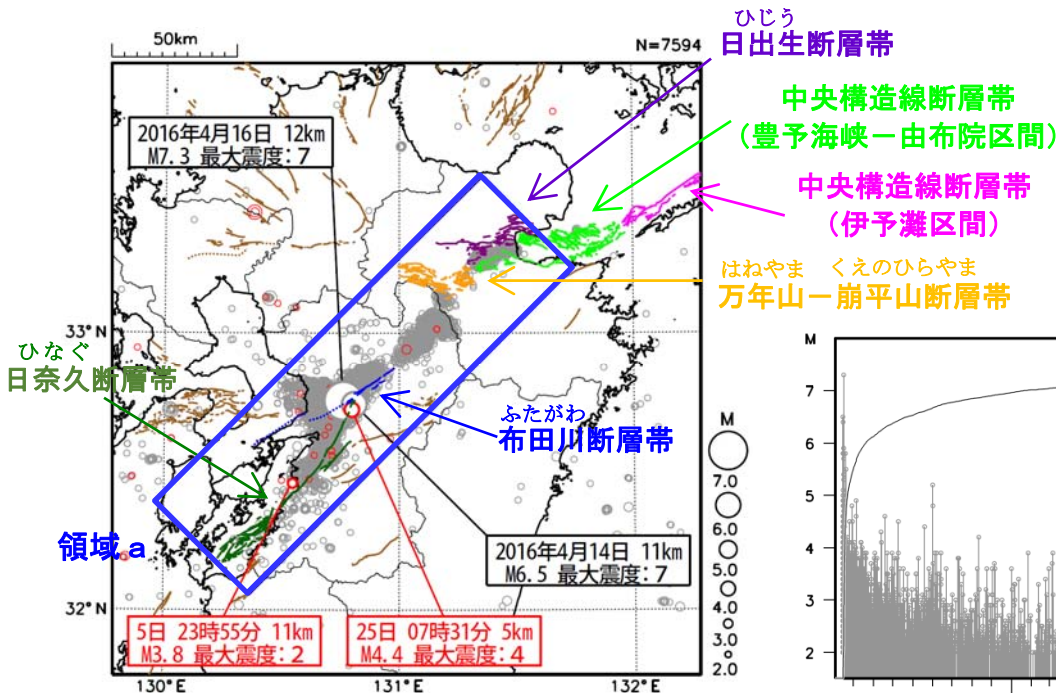


図2 震央分布図
（2016年4月14日21時～2018年7月31日24時、深さ0～20km、M≥2.0）

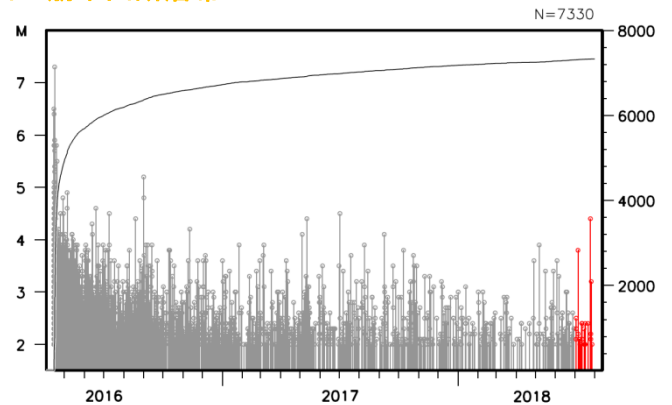


図3 図2の領域aにおける地震活動経過・回数積算図

2016年4月～2018年6月の地震を灰色、2018年7月の地震を赤色で表示。最大震度7を観測した地震および2018年7月に宮崎県内で震度1以上を観測した地震に吹き出しをつけています。震央分布図中の青・緑・橙・紫・黄緑・桃色の各線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示しています。

3日 日向灘を震源とする地震

3日 20時38分に発生したM4.1の地震（深さ37km）により、宮崎県延岡市と大分県佐伯市で震度3を観測したほか、大分県、宮崎県、熊本県、愛媛県および高知県で震度2～1を観測しました（図4）。

今回の地震の震源付近（図6領域b）は日頃から地震活動が見られる領域で、M4～5前後の地震が時々発生しています（図7）。この領域で発生した地震により宮崎県で震度1以上を観測したのは、2018年6月6日に発生したM3.9の地震（深さ28km、最大震度2）により延岡市と都農町で震度2を観測して以来です。

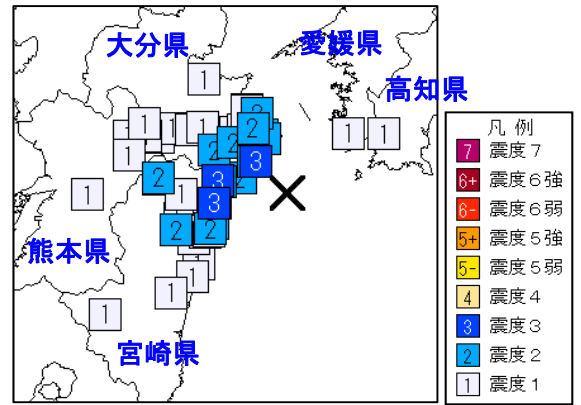


図4 震度分布図 (観測点別 × : 震央)

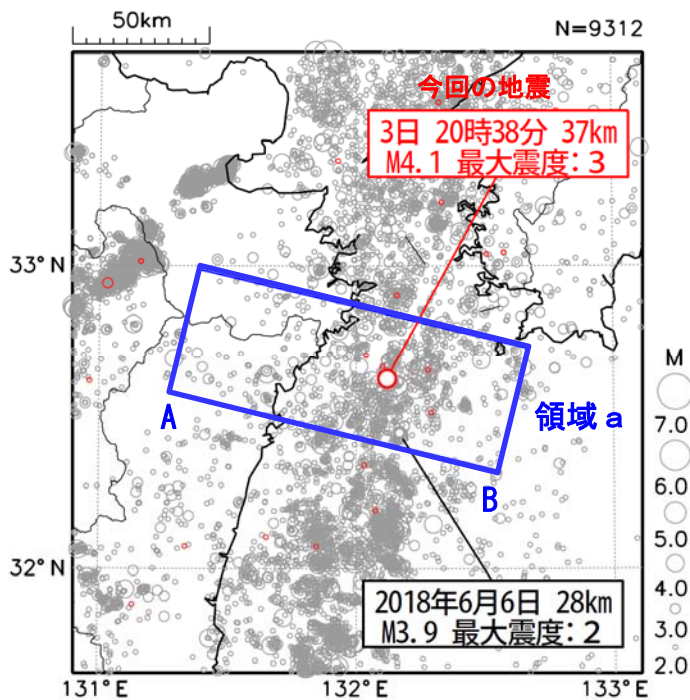


図5 震央分布図

(1997年10月1日~2018年7月31日
深さ0~90km、M≥2.0)

※2018年7月の地震を赤で表示

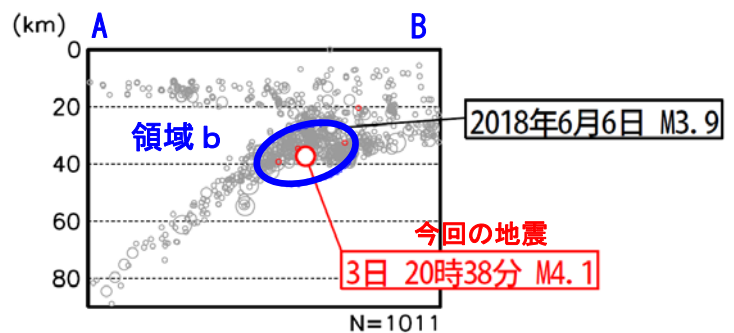


図6 図5領域a内の断面図 (A-B投影)

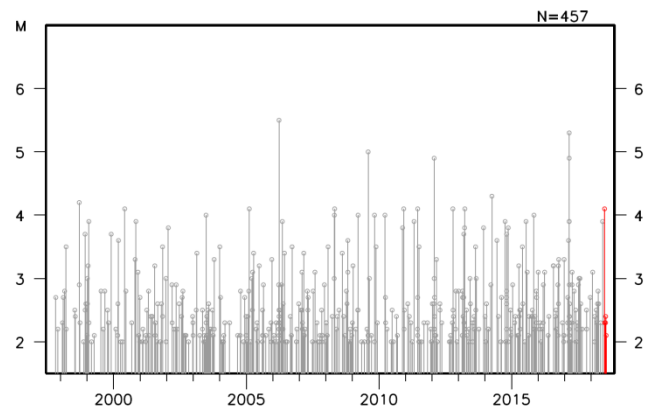


図7 図6領域b内の地震活動経過図

宮崎県内で震度1以上を観測した地震の表（7月1日～31日）

震源時（年月日時分） 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2018年07月03日20時38分	日向灘	32° 37.5' N	132° 07.2' E	37km	M4.1
震度 3：	延岡市天神小路, 延岡市北川町川内名白石*				
震度 2：	延岡市北川町総合支所*, 延岡市北浦町古江*, 延岡市東本小路*, 日向市大王谷運動公園, 門川町本町*, 高千穂町三田井, 宮崎美郷町田代*				
震度 1：	延岡市北方町末, 延岡市北方町卯*, 日向市亀崎, 日向市富高*, 日向市東郷町山陰*, 西都市上の宮*, 川南町川南*, 宮崎都農町役場*, 高千穂町寺迫*, 宮崎美郷町宇納間*, 小林市真方				
2018年07月05日23時55分	熊本県天草・芦北地方	32° 27.3' N	130° 32.7' E	11km	M3.8
震度 1：	西都市上の宮*, 宮崎都農町役場*, 椎葉村総合運動公園*, 椎葉村下福良*				
2018年07月25日07時31分	熊本県熊本地方	32° 43.3' N	130° 47.8' E	5km	M4.4
震度 2：	椎葉村下福良*, 高千穂町三田井, 宮崎美郷町田代*				
震度 1：	延岡市北方町末, 延岡市北川町川内名白石*, 延岡市北方町卯*, 日向市東郷町山陰*, 川南町川南*, 宮崎都農町役場*, 椎葉村総合運動公園*, 高千穂町寺迫*, 小林市真方				

(注1) 使用した震源要素等は暫定値であり、後日修正することがあります。

*は地方公共団体または、国立研究開発法人防災科学技術研究所の観測点です。

(注2) 7月28日05時23分に発生した薩摩半島西方沖の地震(M2.4)について「宮崎市霧島」の震度データ(震度1)を情報発表しておりましたが、後日精査した結果、この震度データはノイズであることがわかりました。そのため、この地震により震度1以上を観測した観測点はありません。

「防災の日」と「防災週間」

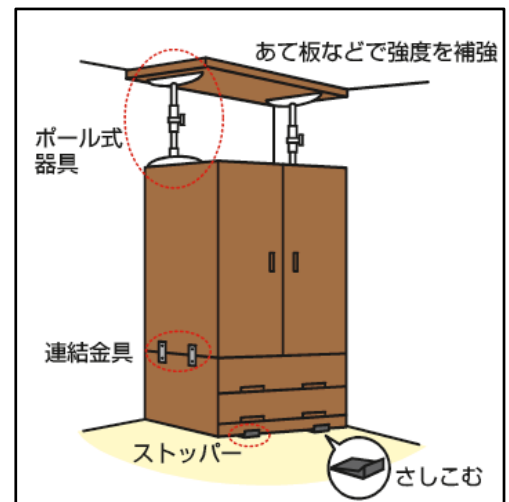
～いつかくる災害に備えて～

毎年、9月1日は「防災の日」、8月30日～9月5日は「防災週間」です。

この期間には、国や防災関係機関をはじめ、広く住民の方が地震、津波等の災害の理解を深め、これに対する備えを充実強化していくため、全国各地で大きな地震を想定した防災訓練や防災講演会などのイベントが開催されます。この機会にこれらのイベントに参加して防災に対する意識を深め、日頃からの備えと大きな地震が起こった時のとるべき行動を確認し、災害にしっかり備えましょう。

○日頃からの備え

日頃からの地震への備えには、「家具の固定や配置の見直し」、「水や食料・生活用品の備蓄」、「建物の耐震診断や耐震化」などがあります。特に、近年の大きな地震の際には多くの人々が家具の転倒によりケガなどをしており、家具の固定が重要です。右の図を参考に家具を固定しましょう。また、寝室に重い家具を置かないなど、配置にも気を配りましょう。大きな地震が発生した時は、電気・水道・ガスなどのライフラインが停止することがありますので、水や食料品などを備蓄しておきましょう。建物の耐震診断などは市町村の建築窓口へ相談しましょう。



みんなで減災（内閣府パンフレット）より

○とるべき行動

緊急地震速報を見聞きした場合や地震による強い揺れを感じた時の具体的な行動は周囲の状況によって異なります。日頃からいざという時の行動を考えておきましょう。

家庭では



- 頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難する
- あわてて外に飛び出さない
- 無理に火を消そうとしない

人が大勢いる施設では



- 施設の係員の指示に従い、落ち着いて行動し、あわてて出口に走り出さない

屋外（街）では



- ブロック塀の倒壊等にご注意する
- 看板や割れたガラスの落下にご注意する

いざという時の行動例

その他の行動例や緊急地震速報については気象庁のホームページをご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nc/koudou/koudou.html>